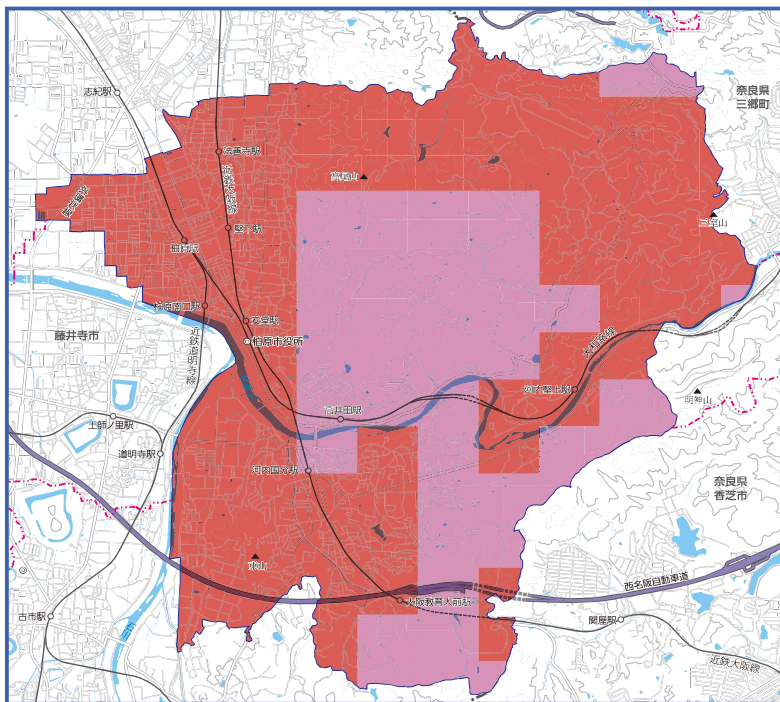


# 地震災害

## 震度分布図

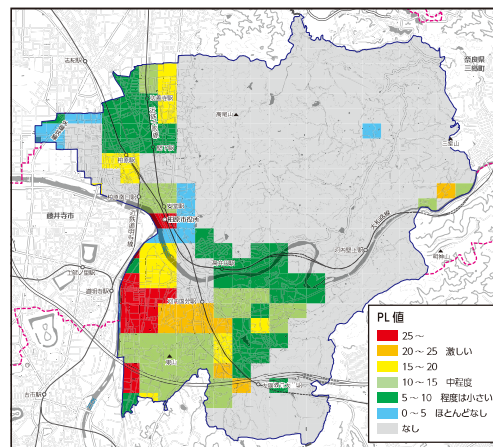


この震度分布図は上町断層帯、生駒断層帯、南海トラフ、3つの地震を重ねて最大となる震度をもとに作成しています。実際の地震発生時には、震源の位置、規模、自然条件などにより揺れ方がわかります。表示されたおりの状況が発生することを示すものではありません。

## 震度階級表

|       |   |       |   |
|-------|---|-------|---|
| 震度 4  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ほとんどの人が驚く。</li> <li>●電灯などのつり下げ物が大きく揺れる。</li> <li>●すわりの悪い置物が、倒れることがある。</li> </ul>                                  | 震度 6弱 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●立っていることが困難になる。</li> <li>●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。</li> <li>●耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。</li> <li>●ドアが開かなくなることがある。</li> </ul> |
| 震度 5弱 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。</li> <li>●棚にある食器類や本が落ちることがある。</li> <li>●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。</li> </ul> | 震度 6強 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●はわないと動くことができない。</li> <li>●耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが多くなる。</li> <li>●がけ崩れが多発し、大規模な地すべりや山の崩壊が発生することがある。</li> </ul>                                 |
| 震度 5強 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●物につかまらなさと歩くことが難しい。</li> <li>●棚にある食器類や本が落ちることが多くなる。</li> <li>●補強されていないブロック塀が崩れることがある。</li> </ul>                   | 震度 7  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。</li> <li>●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物は、倒れるものが多くなる。</li> </ul>   |

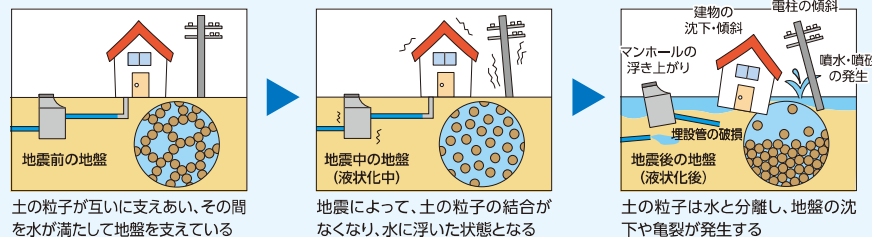
## 液状化可能性図(南海トラフの最大クラスの地震)



- PL値: その地点での液状化の危険度を表す値です。
- 推計は250mメッシュ単位で実施しており、メッシュ内の平均的な地盤情報を用いているため、個々の宅地や事業所等における液状化可能性とは必ずしも一致しません。
- 液状化可能性が低いとされている地域について、液状化が発生しないことを保証するものではありません。

### 液状化現象とは

液状化とは、地震が発生して地盤が強い衝撃を受けると、今まで互いに接して支えあっていた土の粒子がバラバラになり、地盤全体がドロドロの液体のような状態になる現象のことをいいます。液状化が発生すると、地盤から水が噴き出したり、また、それまで安定していた地盤が急に柔らかくなるため、その上に立っていた建物が沈んだり(傾いたり)、地中に埋まっていたマンホールや埋設管が浮かんだり、地面全体が低い方へ流れ出すといった現象が発生します。



出典: 国土交通省ウェブサイト([https://www.mlit.go.jp/toshi/toshi\\_fr1\\_000010.html](https://www.mlit.go.jp/toshi/toshi_fr1_000010.html))

## 長周期地震動

令和5年2月から長周期地震動による被害の可能性がある場合も、緊急地震速報を発表することになりました。

### ●長周期地震動とは

大きな地震で生じる、周期(揺れが1往復するのにかかる時間)が長い大きな揺れのことを長周期地震動といいます。

#### 特徴

- 高層ビルを、長時間にわたって大きく揺らす。
- 遠くまで伝わりやすい性質がある。
- 震源が浅くて大きな地震ほど長周期地震動が発生しやすくなる。

### ●長周期地震動階級

高層ビルでの長周期地震動による揺れの大きさは、震度ではわからないため、「長周期地震動階級」という目安で表します。

長周期地震動階級表(高層ビルにおける人の体感・行動、室内の状況)

| 階級  | 人の体感・行動   | 室内の状況  |
|-----|---|--|
| 階級1 | 室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。                              | ブラインドなど吊り下げものが大きく揺れる。                                |
| 階級2 | 室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらなさと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。 | キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。              |
| 階級3 | 立っていることが困難になる。  | キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。 |
| 階級4 | 立っていることができない、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。                 | キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。 |

出典: 気象庁